

■子育て・教育は稲沢で・・・稲沢市令和2年度予算のポイント

新年度一般会計は517億3千万円で対前年度57億2千万円、12.4%の大幅増で過去最大、500億円を突破です。歳入は、市税213.7億円、地方交付税32億円、国庫支出金61.9億円、県支出金32.5億円、基金繰入27.1億円は対前年度約1.5倍、市債84.3億円は同約2倍の大幅増などです。地方債残高見込額も市民1人当たり約36万円と増加しています。(以下は新規施策等の抜粋です。)

●稲沢おでかけタクシー事業・・・0.22億円 市長公室

75歳以上の高齢者及び障害者等で市内全域等へ運行、利用料半額

●新分庁舎等整備事業・・・17.14億円 総務部

災害対策拠点(防災対策機器等の整備事業に別途0.41億円)、福祉事務所及び社会福祉協議会の機能を集約し整備、総額約21億円

●公立保育園防犯カメラ整備事業・・・0.21億円 子ども健康部

園児の安全確保のために未設置の16園全園に防犯カメラを整備する他、小・中学校防犯カメラ整備事業として小中学校全校にも設置 1.03億円 教育委員会

●子ども医療費助成事業・・・7.03億円 市民福祉部

入院医療費無償化を高校生等まで拡大(8月から)する他、放課後児童クラブ利用料減免事業で非課税世帯は全額に拡大(子ども健康部)

●休日急病診療所整備費補助・・・2.32億円 子ども健康部

老朽化した休日急病診療所を現敷地内で建替え(事業主体は医師会)、旧明治スズラン児童センターに仮設、来年4月開所

●胃がん内視鏡検査・・・0.02億円 子ども健康部

検診時50歳以上の市民を対象に2年に1回(令和2年は8～10月)内視鏡検診を実施する他、生活習慣病予防対策事業で野菜摂取・減塩料理のレシピコンテストを開催(6月公募7～8月審査10～11月表彰)

●(仮称)イチョウ見本園整備事業・・・3.77億円 経済環境部

祖父江ぎんなんブランド化の強化・確立へ代表品種の保全、PRに見本園を整備

●食料産業・6次産業化事業費補助・・・0.27億円 経済環境部

食品産業の推進へ食品製造業者等の施設整備に補助金交付

●洪水ハザードマップ作成事業・・・0.13億円 建設部

国・県が新たに公表した想定し得る最大規模の降雨の浸水想定に基づき洪水ハザードマップを作製する他、三宅川等に河川等監視カメラ設置事業0.04億円 総務部

●屋内運動場スロープ設置及びトイレ様式化事業

・・・0.19億円 教育委員会 投票所等の利用に向けスロープの設置及びトイレの一部様式化(稲沢北小 高御堂小 祖父江小)

稲沢市議会遠藤明副議長逝く

昨年の市議選で鈴木と同じ4期目の当選を果たし副議長の要職についていた遠藤市議が急逝いたしました。初当選からタッグを組んだ盟友の早すぎる死を悼みご冥福をお祈りしました。葬儀委員長は後援会会長の小澤康博様、喪主は令夫人の律子さん、通夜、告別式にはお支え頂いた地元の皆様や公職者をはじめ大変多くの方々にご弔問頂きえんどっちの人情が偲ばれました。

●集中する施設整備事業

【児童センター改修事業】

小正すみれ児童センターリニューアル、高御堂カトレア児童センター調査・・・0.68億円

【稲沢東第2児童クラブ整備事業】

通学区の再編に伴い東小校区に第2児童クラブを整備、7月開所予定・・・1.33億円

【明日花東分室整備事業】

不登校児・生徒の施設が手狭のため武道館敷地内に新たに分室を整備・・・0.39億円

【祖父江中学校プール整備事業等】

老朽化した祖父江中学校プールを旧祖父江支所敷地に移転整備・・・2.32億円

【祖父江の森温水プール熱源改修及びリニューアル事業】

プール内のタイルの張替えほか大規模なリニューアル工事を実施・・・6.64億円

【祖父江生涯学習センター整備事業】

旧祖父江支所跡地に公民館の機能、郷土資料展示等を含め施設を再整備・・・10億円

【大里西公民館整備事業】

大里西公民館を移転整備・・・3.67億円

【稲沢公民館増築事業】

稲葉老人福祉センターあすなろ館の一部機能を増築移転し調理室を新設・・・2.34億円

【環境センター復旧整備に17.48億円】

●まちづくりの推進

国府宮駅再整備へ・・・0.07&0.1億円

【国府宮駅周辺長期ビジョン検討事業】

【国府宮駅周辺地区再開発推進事業】

土地区画整理事業へ・・・0.09&0.04億円

【高御堂南・正明寺地区まちづくり基本調査事業】

【稲島東地区まちづくり計画推進事業】

●訪問看護ステーション事業

在宅療養患者等の療養生活支援を実施する他・・・0.44億円 市民病院、フレイル※予防事業で健康教育等を実施 市民福祉部

●無形文化財等映像作成事業

伝統文化継承のため無形文化財等の映像を記録し祖父江生涯学習センターで放映(はだか祭 こがし祭 尾張の虫送り 三宮社の御武射(おぶしゃ) 一時上臈(いっとせじょうろう) 木遣音頭(きやりおんど) 山崎地蔵まつり 高熊の輪くぐり)

●荻須記念美術館特別展

荻須画伯と東美で同級の近代洋画家牛島憲之氏の個展を開催・・・0.07億円



鈴木純事務所 稲沢市稲島11-24

TEL 24-6600 FAX 23-0791

※フレイル：自立した生活が送れる状態と介護を受けなければならない状態の中間の状態

愛知県議会報告 J-PRESS

新 政 あ い ち 県議団

愛知県議会報告は新政あいち県議団及び議員に交付されている政務活動費を充当して作成・配布しています。県政へのご意見をお寄せください。

責任者:鈴木純 名古屋市中区三の丸1-2
代表電話 052-961-2111 FAX052-961-3766

令和2年度START!

東京2020オリ・パラ延期

パンデミック 新型コロナウイルスに関する問い合わせ先

●一般相談窓口 県 052-954-6272 一宮保健所 0586-72-0321

平日：午前9時～午後5時 土日祝日：午前9時～午後5時(一宮保健所は平日のみ)

●帰国者・接触者相談センター 一宮保健所 0586-72-1699

平日：午前9時～午後5時 夜間・土日祝日：オンコール24時間体制

愛知県議会2月定例会は、新型コロナウイルス感染症対策緊急つなぎ資金の創設や議長提案の新型コロナウイルス感染症対策の強化についての意見書等を早期議決し、新年度の一般会計予算や動物保護管理センターを動物愛護センターに変更する条例の一部改正、国の緊急対策関連の生活福祉資金貸付事業費補助金等の追加議案など全ての議案及び主要農作物に関する議員提案条例などを可決し 3 月 25 日に閉会しました。

新年度の一般会計当初予算は 2 兆 5,722 億 4,500 万円、対前年度約 597 億円、2.4%の増です。但し消費税増税(地方消費税率は1.7%→2.2%)による地方消費税清算金支出を除くと 0.6%の増に止まります。法人二税は企業収益の減速に加え法人県民税率の引下等で 1 割超の大幅減を見込みます。県債残高は 5 兆 3,691 億円、県民 755 万人では一人当たり約 71 万円です。

本年度は次世代産業の一つであるロボット産業の振興に向けロボカップアジアパシフィック2020あいち等を開催、さらに昨年に続き技能五輪・アビリンピック全国大会を開催します。是非、健康で元気に多くの皆様にご来場頂きますようお願いします。市長選挙では市議の補欠選挙も執行、解散総選挙は・・・1年間延期された東京 2020 オリ・パラが緊急事態宣言を乗り切りパンデミックに打ち勝ち世界の祭典となるよう願います。



稲沢市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例



稲沢市議会の昨年の十二月定例会で可決された住宅規制緩和の条例は愛知県が平成二十三年に地域活性化を図るために市街化調整区域での住宅等の立地条件を緩和したものに準じたもの(中核市等と同様に事務処理市となっている稲沢市は県条例の対象にはならない)ですが、市街化区域が県内三十八市中三十五位と少ない稲沢市として本来は必要な措置です。但し今回の指定区域は下水道周辺対策地域等で敷地面積二百㎡以上は評価できるものの本来は江南市のように国府宮駅等の市街化区域周辺の市街化調整区域の活性化を図り稲沢市の骨格づくりを進めるべきで下水道対象地域の縮小等に対する整理が必要です。皆で考えて未来へつづくまちづくりへ生懸命働きます。

▲写真は2月県議会の本会議で新たな洪水ハザードマップと不動産関係者の説明事項の取組状況について県の対応を質しました。

愛知県議会議員
(稲沢市選出)

すすき



■愛知新起動予算・・・新規事業等のポイント

一般会計当初予算の歳入では**県税が1兆1,669億円**(対前年度148億円減、全体の45.4%)、歳入を補うために今回も減債基金880億円を取崩などで財源を確保しています。歳出では扶助費・人件費・公債費の**義務的経費が170億円増の1兆2,821億円、全体の49.8%、AICHI SKY EXPOや平針の運転免許試験場の完成により投資的経費は499億円的大幅減、2,796億円、10.9%、地方消費税関係や国勢調査費35億円を含むその他経費は927億円的大幅増、1兆105億円、39.3%**です。

新規事業等について知事の柱立てージブリパークとステーションAiを冠に2+11の柱で重点施策を編成一に則りご報告します。

(超抜粋、10は東三河の振興)

●ジブリパークを2022年に実現

2022年秋開業(青春の丘、ジブリの大倉庫、どんどこ森の3エリア)を目指しジブリパークの整備を推進、概算事業費約182億円(5エリア合計約340億円)、想定来場者数約100万人(同約180万人)【約27.5億円外に債務負担行為約107億円】及び公園施設整備や周辺道路対策を推進【約18億円 外に債務負担行為約27億円】

●ステーションAiプロジェクトの推進

スタートアップを起爆剤に持続的にイノベーションを創出する愛知県独自のエコシステムを形成。22年11月に開業を目指す新規のスタートアップ拠点(昭和区鶴舞) 整備事業費には約1.8億円(外に債務負担行為約149億円)等【約7.1億円 外に債務負担行為約149億円】

1. 「リニア大交流圏」の形成

社会基盤の整備/交通・航空対策の推進/住みやすさ日本一愛知

- リニア開業を見据え大交流圏の玄関口となる名古屋駅のスーパーターミナル化と40分交通圏拡大等リニアインパクトの広域化【0.27億円】
- 1日7万人超が利用するJR刈谷駅の改良事業を支援【新規0.35億円】

2. 産業首都あいち

国際イノベーション都市あいちへの飛躍/次世代産業の創出・育成/企業立地の推進/中小企業・商店街等の振興

- ロボカップアジアパシフィック2020あいちを10月8日～12日にワールドロボットサミット2020と同時開催【3.7億円】
- MICEを核とした国際観光都市の実現に向けた検討【0.95億円】

3. 農林水産業の振興

- 農福連携推進人材育成事業など農業分野における障害者の就労機会を創出・拡大する取組を実施【0.23億円】
- 第70回全国植樹祭の開催理念を継承する取組【0.75億円】

4. 「人が輝くあいち」

教育立県あいち、人材創造あいち/女性の活躍促進/子ども・子育て支援/医療・健康長寿/障害者福祉・支援、ノーマライゼーション推進/産業人材・雇用/就職氷河期世代対策^{NEW}

- 名古屋市との共同事業として名古屋市科学館内に2021年3月にノーベル賞受賞者顕彰施設をオープン【一部新規4.67億円】
- 名称変更(工業→工科)や学科改編、産業担い手育成など県立高校教育推進実施計画に基づき魅力ある高校づくり推進【2.31億円】



【平成31年度当初予算規模】			
		伸率(%)	
一般会計	2兆5,124億余円	100.7	
特別会計	1兆3,398億余円	100.6	
企業会計	3,114億余円	184.7	
合計	4兆1,638億余円	104.2	

■ジブリパークの概要

駐車場の増設公園北側1500台



エリア名	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
青春の丘 ジブリ大倉庫 どんどこ森	基本構設計画	実施設計	工事	工事	工事	開業1年後
もののけの里 魔女の谷			実施設計	工事	工事	開業1年後

■ステーションAiの概要



- 行動計画策定支援など女性の活躍促進【一部新規0.35億円】
- 高齢者がいきいきと輝くまちづくりモデル事業など高齢者の社会参加を推進【新規0.53億円】
- オーガナイザー(家庭訪問ボランティアの調整役)養成研修や子育て家庭寄り添い支援モデル事業等【新規0.04億円】
- 就職氷河期世代の就職・社会参加を支援【一部新規2.56億円】
- 4月1日から強化される受動喫煙防止について対策を推進【0.14億円】

5. 観光あいち・魅力発信

観光都市あいち/あいちの魅力発信

- 愛知らしい観光資源を活かしたお城観光、街道観光(東海道・美濃路・飯田街道)を関係市町村等と連携して推進【新規0.34億円】

6. 文化・スポーツの振興

文化・芸術都市あいち/スポーツ王国あいち

- 朝日遺跡(清須市・名古屋市西区にある東海地方最大の弥生集落)の魅力を発信、あいち朝日遺跡ミュージアム11月22日オープン【4.95億円】
- 東京オリ・パラの盛り上げ、教育推進【一部新規1.86億円】
- 2021年1月末に第76回冬季国体のスケート競技会等を開催【1.59億円】

7. あいちのグローバル展開

- 友好提携40周年記念事業によりオーストラリア・ビクトリア州、中国・江蘇省との交流を推進【新規0.39億円】
- あいち地域日本語教育推進センター(仮称)の設置や市町村への日本語教育助成など多文化共生社会づくりを推進【一部新規2.1億円】

8. 安全・安心なあいち

地震・防災対策/交通安全/防犯対策/消費者の安心

- 多発事故防止の啓発や高齢運転者の安全運転支援装置を市町村と協調助成※(補助率1/2以内上限3万2千円等)【一部新規2.57億円】
- ※装置の費用約8万円に対し国・県・市の助成で1/10の8千円程度の自己負担で設置可能に、稲沢市では6月補正で実施の予定(4月に遡って助成)。

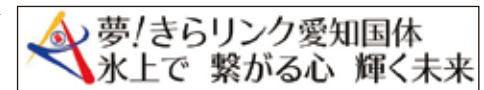
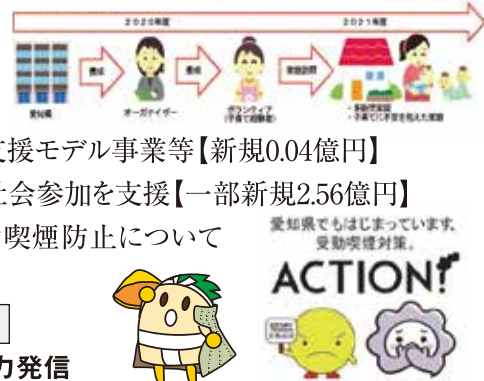
- 第15回食育推進全国大会inあいち6月27・28日に開催【0.69億円】

9. 環境首都あいちの推進

- プラスチック資源循環・適正処理対策の強化や食品ロス削減対策、合併浄化槽への転換促進など循環型社会を推進【一部新規6.14億円】
- COP15(10月 中国・昆明こんめい)に向けた取組等生物多様性保全の取組を推進【1.1億円】

11. 地方分権・行財政改革の推進

- 2040年頃の社会経済を展望し2030年度を目標に次期あいちビジョンを秋頃策定【0.17億円】
- SDGs 推進フェアの開催(8月21・22日)などSDGs 未来都市あいちを推進【0.45億円】



- 授業料軽減・入学納付金補助を年収720万円未満まで拡大や専修学校と通信制高校併修者の上乗せ補助など父母負担軽減・教育条件向上へ私学助成【717億円】
- スクール・サポート・スタッフの配置促進やスクールロイヤーの設置(新規)など学校における働き方改革を推進【0.87億円】
- 保育士の負担軽減へ体制強化事業など保育人材の確保対策を強化【7.16億円】
- 介護従事者の心のケアや外国人介護人材の受入支援など介護人材の確保対策を強化【5.66億円】
- 技能五輪・アビリンピックの連続開催、2025年技能五輪国際大会招致【9.02億円】



- 国指定史跡断方山(だんぶんさん)古墳の発掘調査【新規0.1億円】
- 有識者等検討会議など障害者スポーツの推進【新規0.01億円】
- アジア競技大会の取組・同パラ競技大会の開催可能性調査【新規2.42億円ほか】



- 日本語指導が必要な外国人児童生徒へ学習・就労支援を充実【一部新規36億円】



○愛知県環境調査センターに環境学習プラザ開設など環境首都あいちを定める人づくりを推進【0.7億円】



○平針運転免許試験場5月オープン【0.7億円】

